

**令和7年度工学部及び修士課程の学生と工学部長との懇談会における
学生からの意見・要望等への対応状況一覧**

No.	事 項	学生からの意見・要望等	会場での発言（教員から）	今後の対応	対応状況（検討結果等） ※令和8年2月現在	対応状況（検討結果等） ※令和8年10月現在
1	学生生活関連	フィロスでゲームをして騒いでる人がいて集中できないため、改善していただきたい。	フィロスは勉強する場所であるため、担当の先生方と相談し、対応策を検討する。	工学域支援課からフィロスの担当教員方に対応を依頼する。		
2	施設設備等関連	ローン付近にあった山梨中央銀行のATMを再設置していただきたい。	利用率の問題で撤去が決まった経緯がある。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
3	授業関連	機械工学科では3年後期から仮配属があり、その際にGPAを用いられるが、3年次編入生は前期の成績だけでGPAが決まるため不公平ではないか。	3年次編入生が前期の成績のみのGPAを用いられるのは致し方ない部分もあるが、不公平感が出ないよう対応していただきたい旨、担当教員と相談し、また、教育委員会で周知する。	教育委員長が教育委員会等で対応を検討する。		教育委員会で教育主任に共有した。 コース単位で検討・対応する。
4	システム・ネットワーク関連	キャンパス内のWi-Fiがつながりにくいことがあるため改善していただきたい。	Wi-Fiについては毎年改善を進めており、環境の調査も行っている。具体的に接続が悪い場所を把握している場合は、学域長への要望ボックスや工学域支援課に情報を共有していただきたい。	会場での発言が最終回答。 工学部としては、要望があった場合に担当部署へ報告する。		
5	学生生活関連	学食の値段がコンビニやほかの飲食店とあまり変わらないため、少し安くしてほしい。	大学生協では、生協の組合員代表が経営に参加できる仕組みがある。生協の学生委員会(Gi)に参加している学生もいると思うので、そちらにも意見を伝えていただけると効果的である。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
6	施設設備等関連	工学部内で最近行われている環境整備は、学生のニーズとずれているように感じる。そうしたずれを解消するために、日常的に要望が伝えられる仕組みが必要である。「工学部長への要望ボックス」はその仕組みの一部であると思うが、CNSに設置した方が学生がアクセスしやすいのではないかと。	学生からの要望は、今後も遠慮なく寄せていただきたい。要望ボックスのリンク掲載については、より気軽に意見が送れるように改善を検討する。	要望ボックスの運用方法を検討する。		
7	学生生活関連	グループで学習できる場所を増やしてほしい。	空いている教室をグループ学習用に開放したり、A2号館1階をリニューアルしているため、その活用方法を再検討する。 また、以前に空き教室を冬場に開放していたが暖房費が高騰した問題があった。利用できる教室を集約するなどして教室開放を検討したい。	工学域支援課にて検討する。	グループ学習やゼミで使用してもらえよう、A2号館1階（A2-11教室の隣）にミーティングボードを備えた部屋を整備し、R8年4月には運用開始する予定である。	A2号館1階を整備したのでグループ学習に活用していただきたい。 共創環境棟の1階も解放されているため、活用いただきたい。
8	授業関連	1限が多いと朝がつらいという学生が多いと感じる。時間割調整をしてほしい。	すぐに改善することは難しいが、委員会等で共有したい。	教育委員長が教育委員会等で意見を共有する。		教育委員会で意見を共有した。
9	施設設備等関連	駐輪場を増やしてほしい	現在、工学部では工事の影響で駐輪場が減っている。ただ、T1号館とB1号館の間の中庭に駐輪場を増設しているので、そこらも活用いただきたい。 学生の声が多いことも踏まえ、今後の整備について検討する。	工学域支援課にて検討する。		共創環境棟付近にも駐輪スペースを確保しているため活用いただきたい。
10	学生生活関連	工学部では上下のつながりが弱いため、上級生の研究や卒論発表を見られる機会を増やしてほしい。そうすれば研究室選択もしやすくなるのではないかと。	多くの学科・コースではすでに卒論発表を見学できる仕組みが用意されている。改めて学生に分かりやすく周知できるように教員間で共有することとした。	教育委員長が教育委員会等で意見を共有する。		教育委員会で意見を共有した。
11	授業関連	実験で使用する道具について、基本的な使い方をまとめた資料があると授業がスムーズになると思う。	カリキュラム変更の影響で、基礎的な機器の扱いを説明する時間が減っている可能性がある。もし授業時間内で十分に説明できないときは、教材などの追加資料を用意するように教員に周知したい。	教育委員長が教育委員会等で意見を共有する。		教育委員会で意見を共有した。
12	システム・ネットワーク関連	A3号館1階の実験室の電波が弱い。	担当部署に共有のうえ改善を依頼する。	工学域支援課から情報システム課へ要望を伝える。	A3号館1階は学科の実験室となっており、教室以外の共用部になります。共用部につきましては、廊下にアクセスポイントを設置しておりますが、建物全体を十分にカバーできていない状況であることも把握しております。各部屋までの電波は、壁などの障害物による減衰に加え、各研究室などで自由に設置されている無線LANアクセスポイントとの電波干渉も生じており、通信品質に影響を及ぼしています。 これらの状況を改善するためには、アクセスポイントの追加設置に加え、アクセスポイントを統合的に制御できる機能を持つ機器への更新が必要となります。しかしながら、これらの対応には多額の費用を要するため、すべてのご要望に即時対応することは難しい状況です。つきましては、以下の点について、ご協力をお願い申し上げます。 ・電波状況の良い場所でのご利用 電波が弱い場合は、電波状況の良い場所へ移動してご利用いただけますようお願いいたします。 ・研究室・実験室での無線LAN環境整備 必要に応じて、研究室・実験室に無線LANルーターを設置するなど、研究室の指導教員、担当教員へご相談ください。 ご利用の皆様には引き続きご不便をおかけしておりますが、今後も改善に向けて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。また、次回2027年度の教育研究用情報システムリプレイス時には、通信環境の改善を検討	
13	授業関連	1年生の実習科目「創発PBL」について、前期に受講した学生から次の意見があった。 ・PBLの目的である「能動的な学習」や「自分事として考える学習」が、日々の授業で十分に感じられなかった。 ・せっかく他学部と共同で行うのであれば、もっとメンバー交代（シャッフル）を増やしたほうが良いのでは。	創発PBLについては共通教育科目であり、工学部単独で改善を行うことは難しいが、担当部署に意見を上げることとした。	工学域支援課から教務企画課へ要望を伝える。	・ご意見有り難うございます。「能動的」「自分ごとにする」については、わかりにくい面があったため、特に学術科目群で得た知識やスキルを書き出し、さらに深めて活用していけるようなワーク内容に改良していきます。 ・メンバー交代については、協働にはあるていどメンバーとわかり合える時間が必要であるため、2クォーター分を固定として中間でクラス替えを行っています。 ・令和7年度については全学共通教育改革の初年度であったため、意見を踏まえて今後改善していく予定です。	
14	施設設備等関連	研究室のスペースを増やしてほしい。	工学部の研究室スペースは学科内で割り当てられた領域を融通しあう、それでも足りない場合は全体調整するという体制で運営している。まずは土木環境内でスペースの再配分が可能か確認したい。	工学域支援課から土木環境工学科へ要望を伝える。		
15	学生生活関連	一人暮らしの家電を回収する仕組みがあるとよいと思う。	大学として実施するには、保管場所・人員コストの関係から現実的には難しい。また、過去にボランティアや生協が実施しようとしたが、寄付が多すぎて保管しきれなかったようである。 現状としては、外部の回収サービスの活用が現実的である。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
16	授業関連	シラバスの内容が曖昧で分かりにくく、授業ガイドで説明される内容と異なる場合があるため改善していただきたい。	シラバスは授業の契約書のような位置づけであるが、コンピテンシーとの紐づけが難しく、どうしても曖昧になってしまうのが現状である。ただ、学生に伝わらないシラバスは意味がないため、教育委員会で意見を共有する。 また、シラバス作成時と授業開始までにタイムラグがあり、授業運営で変更したいことが生じることもある。可能な限り記載内容と実態が一致するように周知したい。	教育委員長が教育委員会等で意見を共有する。		教育委員会で意見を共有した。 次年度のシラバス編集の際に授業担当教員に周知する。

No.	事 項	学生からの意見・要望等	会場での発言（教員から）	今後の対応	対応状況（検討結果等） ※令和8年2月現在	対応状況（検討結果等） ※令和8年10月現在
17	学生生活関連	生協の閉店時間を延長してほしい。	営業時間延長については、人件費などコスト増につながるため難しい可能性がある。生協委員会に参加することで、実情の理解を深められるとともに、学生の意見を反映できる。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
18	システム・ネットワーク関連	データベース（化学資料館）が学内VPN接続を利用して学外から閲覧できなくなったため改善していただきたい。	以前はVPN接続ができたこととで、設定や契約が変更になった可能性がある。再び学外からも接続できるようにならないか関係部署へ申し入れる。	工学域支援課から関係部署へ要望を伝える。	2018年度契約分より、FTE（科金区分の基準となる教員・准教授の人数）が工学部、生命環境学部のみだったものが医学部も含めることとなった。工学部、生命環境学部のみでも人数が増えており料金が1.5倍、医学部を加えると2倍となることがわかった。 本館参考図書費により契約していること、甲府キャンパス限定にすると契約額が1.5倍に抑えられることから、甲府キャンパス限定の契約とし、接続情報（IPアドレス）を業者に報告した。 それにより本来VPN接続もできなくなるはずだったが、なぜか利用可能となっており、2024年度または2025年度に正確な状況（VPN接続不可の状況）となったと思われる。 VPNに対応するには予算の増額が必要であるが、現在の図書館経費では難しい。	
19	授業関連	テストやレポートが返却されない。	毎年教員へ周知しているが、なかなか改善できていない現状である。返却されなかった授業名がわかれば、直接担当教員に依頼することもできる。	教育委員長が教育委員会等で意見を共有する。		教育委員会で意見を共有した。
20	施設設備等関連	キャンパス内にウォーターサーバーを設置してほしい。	以前は設置されていたが、利用率の問題で撤された経緯がある。とはいえ、今回の要望には賛同の声も多かったため、新棟の整備と併せて再検討したい。	工学域支援課にて検討する。		
21	施設設備等関連	宮前通りでの路上喫煙増加が問題となっているため、学内に喫煙所を再設置するなど検討いただきたい。	教職員でさえ学外まで喫煙しに行っている現状から、大学本部として「学内全面禁煙」の方針は強い。ただ、条例等も変わってきているため、見直す余地があるか本部に確認したい。	工学域支援課から総務課へ要望を伝える。	本学における敷地内全面禁煙の実施については、第207回役員会（平成元年5月31日開催）で審議・承認されておりますので、当課としてはその決定に従い運用すべきものと認識しております。	
22	学生生活関連	コース別懇談会やラフな意見交換会など、学生から意見をだしやすい機会をもっと増やしてほしい。	現在の学長は「学生参加型の大学運営」を推進しており、広報活動への学生参加、大学プロジェクトへの参画、意見募集の仕組みなど、多くの参加ルートが用意されているとのこと。 また、コース独自の懇談会を開催する案は良いと思うので、工学部内で前向きに検討したい。	工学域支援課にて検討する。		
23	施設設備等関連	東キャンパスの環境整備・百周年記念事業について、学生の希望が反映されていないように感じる。また、キャンパス内におしゃれなもの・スポットがほしいという意見があった。	百周年記念事業は、単に大学側だけで決めたものではなく、卒業生の寄付や学生の一部参加・関係者の議論などを経て実現したもので、一定の学生参加はあったとのこと。ただし、「学生にももっと参加してほしい」という情報が十分に伝わらなかった可能性がある。 また、学生が主体的に企画したり制作することも可能である。資金を集めて建物やスペースを整備するといった主体的な活動は歓迎されるので、計画があったら相談してほしい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
24	施設設備等関連	建物が古いため、新しい建物を建設してほしい。その際に、学生が参加しての空間づくりができるようなのではないかと。	大学全体として財政的に厳しい時期であり、新棟建設などは難しい。また、単に老朽化ではなく、歴史や伝統を大切にしている面もある。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
25	学生生活関連	冬季休業が短く帰省が難しいため日程を見直してほしい。	冬休みは大学全体の年間スケジュールとして決められているため、学域単独で変更することは難しい。 祝日の配置によって、年によって多少伸びたり短くなったりはするが、現実的に大きな変更は難しい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
26	学生生活関連	大学院進学に関する情報が少ない。山梨大学だけでなく、他大学院の受験情報や、入学要項の読み方、必要な準備、受験の流れなど、体系的な情報提供がほしい。	各コースの就職・進学担当教員やキャリアセンター、アドバイザー教員などから情報を得られる。ただ、教員側から提供する仕組みも必要であると思うため、2年生ガイダンスなどで情報が提供できる仕組みを考えたい。	学生委員長が学生委員会で検討する。		大学院進学に関する情報は、学期始めのガイダンスやコース独自に開催する就職・進学ガイダンス等で情報提供を行う。なお、他大学院については情報を持ち合わせていないため、学生個人で情報収集を行ってもらう。
27	システム・ネットワーク関連	新CNSについて、ログインを求められる頻度が高すぎるためログイン保持機能を改善してほしい。	担当部署に確認したい。	工学域支援課から教務企画課へ要望を伝える。	本学では、第三者による不正アクセスやなりすましから機密情報を守るため、Microsoft Entra IDによる厳格な認証保護を適用しています。昨今のサイバー攻撃リスクの深刻化を受け、学内のセキュリティ安全性を最優先に確保するため、現在の認証頻度を維持せざるを得ない状況にあります。特にCNSは各システムとの連携を行っている中心的な主要システムとなっていますため、利用者の皆様には教育・研究環境を脅威から守るための不可欠な措置として、ご理解とご協力をお願いします。	
28	学生生活関連	設備改善において、学生ニーズと合っていないことが多い。もっとわかりやすく学生が大学に意見を伝えられる仕組みが必要だと思う。	大学の施設改修や設備投資は、長期的なマスタープラン、国の予算配分、工事計画などに基づいて決まるため、すぐ反映できないことも多い。ただし、学生の声を集める機会は増やしたい。懇談会のような場や学生が参加できる委員会などを拡充し、現場の声を積極的に集められるようにしたい。	工学域支援課にて検討する。		
29	学生生活関連	留学生へのサポート制度について、サポート時間と報酬が実態に合っていないため改善してほしい。また、研究室間でサポーター負担に大きな差があるため、改善してほしい。	今年度が初年度であったため、試行段階であった。今回の意見も踏まえ、報酬体系や負担調整について改善を検討したい。 また、本来サポーターの業務は役所手続きや生活立ち上げ支援などが中心である。役割が混在している研究室も多いため、教育委員会や学生委員会でサポート業務の範囲を明確化し、教員へ共有する。	教育委員長および学生委員長が各委員会で検討する。		

No.	事 項	学生からの意見・要望等	会場での発言（教員から）	今後の対応	対応状況（検討結果等） ※令和8年2月現在	対応状況（検討結果等） ※令和8年10月現在
30	施設設備等関連	A1号館2階へエレベーターでアクセスできず、車いす移動や実験機器の搬入が困難であるため、渡り廊下の設置やエレベーターの設置を検討していただきたい。	渡り廊下は車両の通行上設置が難しいが、A2号館はバリアフリー未対応部分として残っているため、改善が可能か担当部署に確認する。	工学域支援課から施設管理課に対応を依頼する。	A1号館につきましては、建設当時の設計および構造上の制約により、現在も一部がバリアフリー未対応の建物として運用されております。ご指摘のとおり、2階へはエレベーターによるアクセスができます、車いすでの移動や実験機器等の搬入に支障が生じている状況は認識しております。 ご要望のありました渡り廊下の設置やエレベーターの新設につきましては、バリアフリー環境の向上という観点から重要な課題であると認識しており、今後の施設整備に関する検討事項の一つとして位置づけております。 しかしながら、既存建物への大規模な改修には、建物構造上の制約、安全基準および建築関連法令への対応、工事期間中の施設利用への影響、ならびに多額の整備費用が必要となることから、実現性は高くなく、重ちに具体的な整備計画を立てることは困難な状況です。 そのため、現時点ではA1号館のバリアフリー未対応部分を解消するための具体的な改修時期や工事内容は未定であり、短期的な改善が見込める状況にはありません。 今後、中長期的な施設整備計画の見直しや財政状況等を踏まえながら、対応の可否について慎重に検討してまいります。	
31	学生生活関連	コピー用紙は学生が自費で負担しているが、使用量が多く負担が大きいため、無料提供してほしい。	無料提供は財政的に困難であるが、他大学では「裏面に広告を入れて無料コピーを提供する学生企画」で成功した例もあるとのことなので、学生主体の取り組みなら可能性がある。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
32	学生生活関連	有価物の回収頻度を増やしてほしい。	回収は大学が費用を支払って依頼しているため、頻度増加は難しい。ただ、一時的に保管場所を設けることは可能だと思われるので、研究室の指導教員経由で申請していただきたい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
33	施設設備等関連	T1号館前の駐輪場が傾斜で倒れやすい。	T1号館前の駐輪場は新棟工事中の仮設対応であり、工事後に新しい駐輪場を整備予定。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
34	施設設備等関連	T1号館の女子トイレが和式ばかりで洋式トイレを増設してほしい。	大学として洋式化を進めているため、順次対応予定である。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
35	システム・ネットワーク関連	ガウシアン（Gaussian）のライセンス環境が整備されておらず使えないため改善してほしい。	環境設定を確認し、担当部署へ調査依頼することとしたい。また、設定できた場合は、学生へ案内する。	工学域支援課から情報システム課に対応を依頼する。	当課ではGaussianのライセンス契約は締結しておらず、管理はしておりませんので、環境設定等につきましては詳細不明です。対象の学科、研究室等にご確認いただきますようお願いいたします。	
36	学生生活関連	経済負担軽減は研究モチベーションにも繋がるため、成績優秀者への減免制度など、収入に依存しない大学独自の支援を増やしてほしい。	成績優秀者対象の学費減免制度（入試時含む）はすでに存在し、学外奨学金も多くあるため、揭示等を確認し有効に活用いただきたい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。		
37	授業関連	教員の事務業務や教育負担が増え、研究指導時間の確保が難しい状況で、現状では土日対応が必要になることも多いため、工学部として業務量調査や働き方改善を検討してほしい。	教員の仕事配分は非常に不均衡で改善が難しく、また裁量労働制であり研究指導はどうしても時間外になることが多い。講義数の均等化は検討しているが、即改善は難しいというのが現状である。	会場での発言が最終回答。		
38	学生生活関連	留学生支援が学生に丸投げされており負担が大きいため、サポートのマニュアル等を整備していただきたい。	学生の負担が大き点は改めて認識したので、担当部署とマニュアルの作成を検討したい。	工学域支援課とグローバル推進課とで検討する。		
39	学生生活関連	就職活動が早期化しており、研究活動に触れる前に就職が決まる学生もいるため、進学情報をもっと早く提供してほしい。	進学情報は公開されているが、学生に十分に伝わっていないため、進学・就職担当と連携し、情報の公開方法の改善を検討する。	学生委員長が学生委員会で検討する。		大学院進学に関する情報は、2年次等の比較的早い時期からガイダンス等で提供する。なお、募集要項の公開が出願期間の直前（1か月ほど前）になるため、大学院進学に関する情報を提供する際に、提出書類や選抜方法に関する情報も可能な範囲で提供する。
40	施設設備等関連	教室のコンセントを増設してほしい。	教室改修のタイミングごとにコンセントは増やしてきているが、まだ十分でない。今後の改修時にも、増設を優先して検討したい。	工学域支援課にて検討する。		